



第1855回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次
 第2640地区ガバナー: 北中 登一
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 橋本隆
 幹事: 吉本正美
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 13

2012年10月10日(水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 橋本 隆 会長

唱歌

“ふるさと”
 石井 達 君



ゲスト

田辺市防災対策課
 係長 茨 善行 様



出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
52名	3名	12名	75.51%
9月26日修正出席率 93.75% 9月の平均出席率93.17%			

ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇田辺市防災対策課 係長 茨 善行様をお迎えして。
 藍畑・福留・平野・泉・片井・前田・野村・
 小倉・岡本・坂本・竹村・玉置・上原・早稲田
- ◇祝いの会有難うございました。 丸山博
- ◇花火大会、栗山さん大変お世話になりました。あり
 がとうございました 本田・山本・吉本
- ◇花火大会の御礼をニコニコに頂きました。 栗山
- ◇浦地さん全快おめでとう。 谷中
- ◇滋賀へ旅行に行って来ました。ちょっとしたハプ
 ニングがありました。そこはチームワークの良さで
 カバー!! 大変楽しい旅行でした。来年もよろしく。
 佐田
- ◇遠征お疲れ様。参加ありがとうございます。佐田さ
 んグリーン旗もって帰らんといて!! 武田
- ◇ゴルフの遠征、武田さんと佐田さんのおかげで非常
 に楽しかったです。 小山
- ◇カーナビあっても目的地へ着けない佐田さん運転ご
 苦労さまでした。 橋本
- ◇早退します。 岩崎・石井・森本
- ◇本人誕生日 畔田
- ◇結婚記念日 藍畑
- ◇お花頂きます。 渡口

■10月6日(土)、田辺弁慶祭りの花火大会が開催され、
 当クラブの親睦委員会さん恒例の「花火を見る会」
 が栗山会員の別宅にて開催されました。たくさんの
 会員が家族の方々と共に参加して頂きました。あり
 がとうございました。栗山君、親睦委員会の皆さん、
 ありがとうございました。

■米山記念奨学会より米山功労者への感謝状が、国際
 ロータリー日本事務局よりポール・ハリス・フェロー
 認証状とバッジが、後藤信博君に届いています。

■本日、例会終了後に定例理事会を開催致します。
 理事・役員の方はお残り下さい。

幹事報告

- 例会日時変更
- ◎御坊東RC 10月24日(水)→24日(水)18:30~
 場所: 有田市「橋家」<有田2000RCとの合同例会
- ◎海南RC 10月24日(水)→10月22日(月)18:00~
 場所: 海南市保健福祉センター
 10月31日(水)→ 休会
- ◎海南西RC 10月18日(木)→10月22日(月)18:00~
 場所: 海南市保健福祉センター
 11月29日(木)→ 休会
- ◎橋本紀ノ川RC 10月30日(火)→ 10月28日(日)
 場所: ビッグアイ<地区大会>

■メイクアップ
 ◎10月4日(木)田辺RC 山本 亘君

会長報告

■本日のお客様は田辺市防災対策課 係長 茨 善行
 様をお迎えしています。
 後ほど、よろしくお願ひ致します。

■回覧

◎週報「粉河RC」

◎「JCニュース9月号」「シーカ90号」

◎南方熊楠顕彰会より「熊楠ワークス第40号」

◎ガバナー事務所より「第34回バギオ訪問交流の旅案内」
「インターアクト海外研修オリエンテーションの案内」

◎田辺異業種交流会・田辺商工会議所より
「講演会『未来を考える経営』のご案内」

委員会報告

山本 亘 君



田辺異業種交流会・田辺商工会議所共催『未来を考える経営』
講演が10月18日（木）13時より
開催されます。皆様のご来場お待ちしております。

本日のプログラム

◎田辺市防災対策課
係長 茨 善行 様

『巨大地震を生き抜くために』



8月29日に内閣府から公表されました「南海トラフの巨大地震による被害想定」は、昨年発生した東北地方太平洋沖地震で得られたデータを含め、現時点の最新の科学的知見に基づき、「発生しうる最大クラスの地震・津波」を推計したものです。それによると全国における死者は約32万人でそのうち和歌山県は約8万人とされています。ただ、この数字は、全く避難行動を起こさなかった場合の数値であり、素早い避難行動によって犠牲者を8割減少できるとされています。

また、津波については、「発生頻度は極めて低いものの、ひとたび発生すれば甚大な被害をもたらす津波」を想定していることから、津波高10メートル以上の津波が11都県にわたる広い範囲で来襲する想定となっており、田辺市における最大波高は12m、1mの津波が到達するまでの時間は15分とされています。しかし、現時点では、どの地点で12mなのか、15分でどこに到達するのか、当市における犠牲者はいか程なのかは示されていません。

また、それに関連する津波ハザードマップにつきましては、和歌山県が今回の公表結果等を基に、それぞれの地域の実情を踏まえた津波浸水想定を設定し、より詳細な浸水



計算を今年度中に行う予定であるため、田辺市のそれにつきましては平成25年度の中頃を予定しています。

東日本大震災以降の田辺市における津波対策は、国や県の新たな防災対策の指針が示されるまでの間、従来の津波対策をより強化し継続することを基本とし、これまでの津波ハザードマップにとらわれず 広い範囲で地域の皆さんと連携し、津波避難路の整備や津波避難ビルの指定など可能なことから取り組んできました。こうした取組と並行して、津波からの一時避難場所や地域の海拔を表示した防災マップを町内会独自で作成するなど、地域社会がお互いを災害から守るという「共助」の取組を展開している地域もあります。

特に津波避難路については、昨年度は5箇所を整備するとともに、平成24年度の当初予算におきましても8箇所分の事業費を計上して取り組んでいます。

そういう中で皆様方には、それぞれの事業における危機管理の徹底をお願いしたいと思います。たとえば、営業中、又は工場の機械等が稼働中に地震又はそれに伴う津波警報が発表された時にどうしますか。事業所等の立地条件によりその対応は違ってくるとは思いますが、たとえば海岸に隣接する所にそれがあある場合、直ちに店を閉めたり、機械を止めてお客さんや、従業員を避難させますか。おそらくほとんどの事業所が、今までの経験と正常化の偏見によってそのような行動をとらないでしょう。宮城県の女川町では、ある銀行の避難方法・場所をめぐる訴訟にまで発展しているとのこと。このことは何も事業所等の位置だけとは限りません。たとえば工事等の現場、営業先が浸水地域にある場合もあるでしょう。そんな非常時に備えるために、必ず対応マニュアル等を作成すると共に、会社等の中では、たとえば、避難伝達班、避難誘導班等の防災体制を組織するとともに、定期的に訓練を行い、その練度をあげる必要があります。災害時の鉄則は「自分の命は自分で守る」ということです。一方、事業主である皆様方は、従業員の命を預かっているということを忘れずに減災対策の最高手段である「早期自主避難」をお願いします。

最後になりますが、今回の報告により我々が今まで経験したことの無い非常に大きな津波が起りうることを示されました。その発生頻度は極めて低いものの可能性がゼロではないということであるため、「津波が来ない」のではなく「来るかもしれない」との認識のもと、最悪の場合を想定し、それぞれの危機管理体制を確立してそれに備えることが求められているのです。

敢えて言えば、やみくもに過度に津波を恐れるのではなく、対応策を持って正しく恐れなければならないのです。



ロータリークラブは、「人道的な奉仕を行い、すべての職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、世界の親善と平和の確立に寄与することを指向した団体である。」と云われている。例年、10月はロータリアンにとって職業奉仕月間であり、ロータリーの友10月号には、職業奉仕に関して「私が職業奉仕を理解した時・・・」という内容で田中作治氏の指定記事が載っている。多業種からなるロータリアンは、各自が独自の職業に就いている間に職業奉仕と云う奉仕活動を行うことが出来る特権を持つ。是非、御拝読を。 文：上原

10月3日(水) 18:00～
ガーデンホテルハナヨにて
丸山博之君の知事表彰を祝う会
愛須勝章君の田辺警察署表彰を祝う会 開催
ただし愛須君は当日出席できませんでした。



10月6日(土) 18:00～
栗山君の別邸にて
第44回田辺花火大会「花火を見る会」

栗山さん、ありがとうございました。
親睦委員さん、ご家族の方、準備等お疲れ様でした。

